

図書館サポーターズだより

明日に吹く風

長かったゴールデンウィークも終わり、気持ちのいい涼風が吹く季節となりました。皆さんは、新年度の大
学生活にはもう慣れましたか？今年度も、図書館サポーターが皆さんにオススメの本を紹介します。

～図書館サポーター推薦図書～



『ぼくのニセモノをつくるには』: ヨシタケ シンスケ 著 (726.6 || Y92)

宿題、家の手伝い、部屋の掃除など嫌な事だらけでゲンナリしていたケンタくんはある日、お小遣いを全て
遣ってロボットを1体買った。ロボットに自分のニセモノになってもらって全てやってもらうことにしたの
だ。しかし、ロボットはケンタくんについて広く深く知りたがる為、ケンタくんは色々と教えるのに一苦労。
そのうち、自分のことについて考えれば考えるほど次々と浮かんでくるケンタくん。果たして結末はどの
なるのか…。大ヒットしたデビュー作『りんごかもしれない』に続くヨシタケシンスケの発想絵本第2弾！読んで
いる途中でつい笑い出してしまうとともに自分のニセモノをつくりたくなる！大人でも十分楽しめる絵本な
ので、ぜひ読んでみてください！

(K・N)

『茨城県謎解き散歩』: 石塚 眞 著 (291.31 || I81)

茨城県は、自然と歴史・伝統だけでなく、鹿島臨海工業地帯や筑波研究学園都市などの最先端の施設も備え
ています。「ご当地グルメ」が充実しているのも茨城県の特徴といえるでしょう。納豆やあんこう鍋はもちろ
ん、奥久慈しゃもの親子丼、吉原殿中など、茨城県ならではのグルメも多くなっています。他にも「鹿島アン
トラーズ」や「世界最大の牛久大仏」など、話題に事欠くことはありません。そんな茨城県の魅力を歴史編、
人物編、考古・史跡・自然編、民族・宗教編、地理・産業編などに分けて紹介していきます。さて、ここで皆
さんにクイズです。県民の日はなぜ「11月13日」なのでしょう。その答えはこの本の中にあります。是非探
してみてください。

(M・S)

『ジェノサイド』: 高野 和明 著 (913.6 || Ta47)

創薬研究に勤しむ大学院生・古賀研人のもとにある日突然、急死したはずの父から一通のメールが届く。メ
ールの文面には「自分の研究を引き継いでGPCRの作動薬を創薬しろ。危険なら投げ出して構わない。」という
不可解な内容が記されていた。研人は残された父のメッセージを解明するために亡き父が暮らしていたアパ
ートを訪ねる。同じ頃、米軍特殊部隊出身の傭兵・ジョナサン・イエーガーは難病を抱える息子の治療費を稼ぐ
ため、とある極秘作戦の依頼を受ける。イエーガーは「人類全体に奉仕する仕事」とだけ知らされた作戦に疑
念を抱きつつも、愛する息子のためコンゴ民主共和国へと向かう。本来なら交わることのない二人の主人公は
やがてそれぞれの想像を絶する驚愕の真実を目の当たりにする。

遺伝子や創薬といったバイオテクノロジー、暗号技術やコンピュータ技術、アフリカを巡る戦争史、そして
人類の進化の歴史を通して「人類とは何者か」を問う一冊です。

(Y・Y)



* 図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。